区政会議でいただいたご意見の反映状況

経営課題1 魅力あふれるまちづくり

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
1	子どものイベント参加は、区に愛着を持つことにつながるため、募集定員を可能な限り増やしてほしい。また、親子連れが参加しやすいよう活動内容を工夫する必要がある。	イベント実施にあたり、参加者の安全面を十分考慮した上で、参加機会をどのような形で増やしていけるのか、検討や調整を行い、可能な限り募集定員を増やしていきます。また、親子連れが参加しやすいイベントとして、27年度では「田んぼでどろんこ王国」などを開催してきました。今後も、親子が触れ合い楽しめるよう、イベントの開催時期や内容等を検討し、実施していきます。	①平成27年度に対応	【1-1-1】魅力発信の取組み 地域の団体やボランティア、関係機関と連携・協力を得て、より魅力的で来場者や参加者の満足度が高いイベントを実施することで、賑わいを創出し、地域の活性化を促進しながら区外にも鶴見区の魅力を広める取組みを行う。
2	事業の企画立案をすべて区役所が行っていることが多いが、区役所は予算確保やテーマ設定のみ行い、区民が企画段階から主体的に参加できるようにする必要がある。	公募により区民等が主体的にボランティア参加していただいている鶴見活性化楽園会議では、企画立案から運営実施までを活動内容としています。このような形態の事業をさらに広げていきます。	①平成27年度に対応	
3	鶴見緑地でイベントが開催される場合が多いが、いっどこでどんなイベントを開催しているのかわかる掲示が緑地内にあれば効果的である。	鶴見緑地内の入口付近で、当日各所で開催されるイベント内容がわかる広報掲示が行われるよう、公園管理者等に働きかけています。	①平成27年度に対応	
4	種花活動のボランティアメンバーを増やす努力と合わせて、活動を活性化させるため、育てた花がどこに配付され、どのようにまちを飾っているのかわかるように工夫する必要がある。	種花活動の拠点を増やすことでボランティアの方々が活動しやすい環境づくりを行っていきます。また、育てた花の配付先や植付け場所等の選定について、種花活動ボランティアの方々のご意見をお聞きし、協議していくとともに、配布先・植付け場所等の花の写真を広報紙・HP等を活用して周知していきます。	②来年度に対応予定	【1-1-2】「環境」や「花と緑」をキーワードにした取組みの推進 花と緑のまちづくりへの活動参加者の裾野を広げていくとともに、環境に関する活発な区民活動を支援していく。
5	区北部から区南部にある花づくり広場へ行くには、遠く通行も危険な箇所がある。この状況から、区北部にある鶴見緑地においても花づくり広場を設置するよう進めてほしい。	種花活動のボランティアの負担を軽減し、活動しやすい環境づくりのため、ボランティアの方々並びに関係部局等と調整して、鶴見緑地内で新たな花づくり広場を整備します。	②来年度に対応予定	

経営課題2 地域コミュニティの活性化

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
6	地域活動の新たな担い手を確保するためには、子育て層にも参加してもらえるイベントを実施し、地道に声かけ等を行うことにより地域活動に踏み出すきっかけ作りをしていく必要があるのではないか。	次の世代（50～60歳代）やその次の世代（30～40歳代）の方々が、地域の活動にやりがいを持って積極的に参加し、地域の新たな担い手となっていただくことができるように、各地域やイベントに出向き、各世代の方々との意見交換や意識調査等を実施します。また、地域の魅力が伝わる情報発信やきっかけづくり等を行います。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	【2-1-1】地域活動の活性化と自律的な地域運営の支援 各地域に担当職員を複数名配置し、自律した地域運営に向けた支援を中間支援組織と連携して行う。 地域活動に関するさまざまな情報を収集・把握するとともに、広く区民や地域活動団体にPRする。
7	地域活動協議会補助金について、領収書等の規程が厳しく書類作成が複雑である。	補助金申請にかかる書類作成について、地域の負担が少しでも軽減されるよう検討していきます。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	

経営課題3 次世代育成に向けたまちづくり

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
8	児童虐待のサインをくみ取るためにも、もっと具体的な事例の広報が必要。	区民向けには、個別ケースの情報は開示できませんが、地域でのイベント等で、地域と連携して児童虐待の防止について啓発活動を実施し、関係機関とも連携して早期の情報収集に努めています。	①平成27年度に対応	【3-1-1】子育て支援の充実 関係機関等と連携し、待機児童の解消、子育て層の交流の場の設定および児童虐待防止など子育て支援に取り組む。
9	児童虐待防止啓発について、24時間体制で虐待通報窓口を開設していることはまだまだ浸透していないと感じる。広報紙やチラシの配布だけでなく、地域の掲示板の活用など広報の周知方法をわかりやすくしてはどうか。	通報促進の広報の際には、必ず24時間対応であることを記載していますが、より浸透するように広報紙やポスター等、広報手法も含めてより効果的な方法を検討していきます。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	
10	児童虐待防止啓発として、虐待を疑われる子どもについての通報勧奨だけではなく、虐待に至らないようにする相談事業等にも一層力を入れてほしい。	虐待に至らないようにするため、乳幼児健診などのさまざまな機会を通じて、子育てに関する情報や相談場所の案内チラシを配布し、支援が必要な保護者に対しては育児相談や発達相談（専門相談）へつなげる等の相談事業を実施しています。また、保護者の育児に対する不安感や負担感の軽減・解消にむけ子育て講演会や「愛Love子どもフェスタ」などの子育て支援事業も引き続き実施していきます。	①平成27年度に対応	

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
11	学校、地域、保護者の教育に対するニーズを把握する仕組みについて、大人の意見のみでなく、次世代を担う高校生の意見も聞く機会を設けてはどうか。会議に臨む姿勢に関する指導や鶴見区外からの通学生もいる等の諸問題はあるが、整理をしつつ検討をしてはどうか。	26年度に中学生との意見交換会を実施したところ、斬新な意見が出ました。高校生などいろんな世代の声をどう吸収するのかについても検討します。	②来年度に対応予定	【3-3-1】教育の支援の充実 学校、地域、保護者の教育に対するニーズを把握するための仕組みとして、区政会議部会や教育行政連絡会、学校協議会等を通じた情報共有を行う。
12	小・中学校の土曜授業に、地域が関わっていきけるような取り組みができないのか。	教育行政連絡会の場などを活用して議論していきます。	②来年度に対応予定	
13	英語スピーチコンテストは、それだけを目的とするのではなく、前段階から英語に触れるプログラムに参加した子どもが、最終的な目標として何かプレゼンができる場があるという形を取ると、教師の負担も軽減されるのではないかと。	スピーチコンテストだけにこだわるのではなく、英語圏からの留学生との交流事業により英語によるコミュニケーション力の向上を図り、英語でプレゼンをしてもらうような企画を検討します。	②来年度に対応予定	【3-3-2】異文化・英語に親しむ 小学生が異文化にふれる機会の提供や、中学生対象に、英語に親しみ外国に対する興味や関心を高める機会を提供する。
14	英語に興味を持った子どもが、高校に進んでから留学したいとの希望を持った場合、区として何か支援することは考えられないのか。	費用の問題や対象者をどう選択するかなど難しい点があります。	③来年度では対応できないが、引き続き検討	
15	発表の場の提供について、興味ある子どもだけが参加するのではなく、幅広く参加できるようなものを、学校も利用しながら取り組めないか。	学校で土曜授業も含めた教育活動の一環として、外部講師を呼んでダンス教室を開催しました。次年度も引き続き計画します。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	
16	青少年「夢・未来」事業について、緑地などの施設の活用や地域を巻き込むような目新しい内容を工夫したり、子どもたちのモチベーションを向上させるために工夫をしてはどうか。さらに、企業のCSR活動(社会的責任)に働きかけるなどのアプローチにより、子どもたちの興味を一層かきたてる授業をする企業も出てくるのではないかと。	毎回のアンケートも参考にしながら、授業の一環として実施している中で、どんなことができるか学校と相談していきます。また、企業の情報もさらに収集し、学校のカリキュラムに合った、よりモチベーションがアップするような授業をしてもらえる企業とのマッチングも進めていきます。	②来年度に対応予定	【3-2-1】地域と連携した青少年の健全育成の取組 歌やダンス等の活動をしている区内高校生や青少年グループに、日頃の活動成果を発表する機会を提供するとともに、関係機関と連携した非行防止啓発活動等を実施するなど、青少年健全育成の取組みを推進する。 【3-3-3】学校と社会を結ぶ 区内企業・経営者・スポーツ選手の方々のもつ知識や経験談を、区内小中高校生に伝えてもらう。

経営課題4 安全なまちづくり

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
17	防犯カメラは街頭犯罪抑止に効果があるので、積極的に設置を検討すべき。	これまでの防犯カメラ設置状況を検証し、街頭犯罪発生状況のデータを参考に、設置場所についてはより効果的な場所へ、設置台数については27年度地域希望を基準として30台を予定しています。	②来年度に対応予定	【4-1-1】地域・関係機関と連携した防犯対策事業 防犯カメラの設置
18	現在の駐輪場マップは公設置の駐輪場のみを紹介しているが、放置自転車の対策に向けては、民間設置の駐輪場も紹介すべきではないか。	広報紙やホームページなどで民間駐輪場について情報を募集し、鶴見区に転入された方やイベント時に広く周知を行います。	②来年度に対応予定	【4-1-2】地域・関係機関と連携した交通安全対策事業 交通事故防止や自転車マナーの向上をめざし、さまざまな年齢層に対して啓発活動等を行う。
19	スケアードストレート学習について、インパクトがあり、効果は大きいと思うので、よりたくさんの人が見られる場で実施してほしい。	開催可能な場所について一定条件がありますが、他の事業と組み合わせるなどして多くの参加をいただけるよう工夫し、実施します。	②来年度に対応予定	
20	つるみんピックについて、防災リーダーの励みとなるよう、一般参加者も応援できる仕組みづくりが必要。	より多くの来場者が訪れるよう、他の事業と同日開催とする等の工夫をしていきます。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	【4-2-1】区民の安全・安心を担う総合的な防災力の強化 地域の自主防災力強化のため、住民・各種団体、学校と連携した訓練等を行う。

経営課題5 健康で安心して暮らせるまち

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
21	素案の戦略5-1のめざす状態（高齢者や障がい者が「暮らしやすくなった」と感じる区民の割合を増やす。）に記載されている「暮らしやすくなった」という表現が分かりにくい。	「周囲に支えられ、また、安心して暮らせるようになった」という表現に修正しました。	①平成27年度に対応	【5-1】住み慣れた地域で安心して暮らせる地域福祉の推進 くめざす状態） 高齢者や障がい者が周囲に支えられ、また、安心して暮らせるようになったと感じる区民の割合を増やす。
22	福祉にかかる様々な事業をおこなっているが、その周知の方法について、いかに人目にふれさせるか、情報の届かない区民に対していかにして情報を届けるかということが重要である。	区広報紙やホームページ・フェイスブックを通じての啓発はもとより、チラシの配付や各種団体の会議等の場での情報提供を図っていきます。 また、情報を得ることが難しい高齢者等に対する啓発方法の検討を今後も続け、周知・啓発能力の向上に努めます。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	【5-1-1】高齢者・障がい者への理解の啓発等 高齢者、障がい者と地域、団体とのつながり、ふれあいをテーマとした啓発事業の実施 障がい者支援関連の研修会・講習会、高齢者への理解を深めるための講演会等の開催
23	地域福祉については区の将来像を定めて取り組む必要がある、ビジョンを整理したほうがわかりやすいのではないか。 福祉施策の中心、軸足となっていくものは何か。	平成27年3月に鶴見区保健福祉ビジョンを策定し、施策を総合的に進めていく中で、平成28年度は特に、高齢者施策に重点を置いた地域福祉ネットワーク活動推進事業に力を注いでいきます。	②来年度に対応予定	【5-1-2】地域福祉力の向上 住民主体の地域福祉ネットワーク活動推進事業の推進
24	食育事業はまだまだ地域で浸透していないので、地域と行政が共有・連携し事業を進めていく必要があり、普及啓発の方法についても考えていく必要があるのではないか。	さまざまな事業を食生活改善推進員協議会と連携して実施し、地域団体と協働しながら、地域に根ざした普及啓発を支援していきます。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	【5-2-1】健康増進意識の向上 幅広い年齢層に運動習慣の動機づけやより良い食生活習慣を身につける機会として、家族で楽しんでもらえる健康づくりイベントを開催する。

経営課題6 区役所力の強化

番号	区政会議でいただいたご意見	対応方針	対応時期	28年度運営方針（案） 該当箇所
25	区役所の窓口サービスについて、スムーズに手続きが行えていると思うが、星なしという評価になっている。星をとるということより、来庁者に対する愛情があるかどうかではないか。	窓口サービスにばらつきがあると考えており、引き続き、接遇研修や実地指導を行うことにより底上げを図っていきます。また、庁内の案内表示を見やすいものにするなどハード面の改善を行いました。	①平成27年度に対応 ②来年度に対応予定	【6-1-1】快適な窓口サービスの提供 利用者の視点に立った快適で効率的な窓口サービスを提供するとともに、待ち時間の短縮や「待たされ感」の軽減を図る。
26	小学生が対象のイベントを広報紙からピックアップしてA4チラシにまとめた「つるみっ子だより」を区内の市立小学校で配布しているが、私立の小学校に通っている子にも目に触れる機会をつくってはどうか。	区内地下鉄駅・JR放出駅・商業施設に加え、区内に61基ある広報板への掲示を行う等の対応を行いました。	①平成27年度に対応	【6-2-1】さまざまな広報媒体を活用した情報発信 区民が求める情報を確実に分かりやすく提供できるよう、広報紙・フェイスブック・HP・広報板等さまざまな媒体を活用し情報発信する。